

**令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回熊本県災害対策本部会議
次 第**

日時：令和 8 年 7 月 31 日（金）16：00～
会場：県庁防災センター2階 201会議室
（災害対策本部会議室）

1 地震状況の説明（熊本地方気象台）

2 国・県・関係機関からの報告

（報告順）

県関係部局→国関係機関→関係機関

3 災害対策本部長（知事）コメント

4 現地対策本部長（副大臣）コメント

令和 8 年熊本地震

熊本県災害対策本部対応状況

7月28日

- 16時27分 地震発生
- 16時27分 災害対策本部を設置、緊急消防援助隊（消防庁から関係県へ出動要請）
- 17時30分 陸上自衛隊への災害派遣要請（発災直後から派遣調整を開始）
- 19時00分 災害救助法適用（熊本市含む 21 市町村）
- 20時00分 第 1 回災害対策本部会議
- 21時00分 海上自衛隊への災害派遣要請

7月29日

- 0時00分 第 2 回災害対策本部会議
- 9時30分 第 3 回災害対策本部会議
- 16時00分 第 4 回災害対策本部会議

7月30日

- 9時30分 第 5 回災害対策本部会議
- 16時00分 第 6 回災害対策本部会議

7月31日

- 9時30分 第 7 回災害対策本部会議
- 16時00分 第 8 回災害対策本部会議

令和8年熊本地震に係る 第8回災害対策本部会議

【知事公室 危機管理防災局】
R8.7.31（金）15:00時点

被害状況

【人的被害・住家被害】

- 人的被害：131名（うち死亡35名（うち災害起因死者34名）、重症6名）
 - ※ 災害起因死者とは、市町村が災害が原因で死亡したことを確認した死者
 - ・ 日本製紙八代工場にて、閉じ込められた11名全員の救助完了（うち9名は死亡）
 - ・ イオンモール熊本にて、12名救助し、うち5名は軽症、7名は死亡
 - 引き続き、捜索エリアごとに分けて捜索中
- 住家被害：1,507棟 ※現在判明分
 - 【内訳】 全壊 179棟／大規模半壊 20棟／半壊 220棟／一部破損 1,021棟／分類未確定 67棟

【避難に関する情報】

- 避難所開設数：3 7 4 か所
- 避難者数：9, 1 3 4 名

【ライフライン及び通信の状況】

- 電気：県内約 1, 5 9 0 戸で停電が発生
- ガス：情報収集中
- 通信：情報収集中

【119番通報及び出動要請】

通報2,690件 うち出動要請1,026件（火災16、救助28、救急982）
※その他1,664件は住民からの問い合わせ、軽微なけが等

県災害対策本部への省庁・他自治体からの支援状況

- 省庁：内閣府防災、デジタル庁、厚生労働省、経済産業省、環境省、国土交通省、総務省、消防庁、文部科学省、防災科学技術研究所、防衛省、人と防災未来センター、熊本地方気象台、陸海空自衛隊、海上保安庁、警察庁、気象庁
- 自治体：福岡県、長崎県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県、東京都、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、高知県、福岡市、北九州市、久留米市、長崎市、佐世保市、大分市、宮崎市、鹿児島市、那覇市

県内被災地における各機関の活動状況

活動区分	活動機関
航空偵察	海上自衛隊、陸上自衛隊、県警、国交省ヘリ、本県防災ヘリ、鹿児島県防災ヘリ
人命救助	県警、県内消防、緊急消防援助隊、自衛隊、各県防災ヘリ
患者搬送	陸上自衛隊、D-MAT、防災ヘリ（長崎県、佐賀県、北九州市）、ドクターヘリ
給水支援	陸上自衛隊（給水車）、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、国土交通省

罹災証明書関係

- 市町村の状況（令和8年7月31日 14時時点）
- ・専用窓口設置（予定含む） 30市町村
 - ・住家被害認定調査実施（予定含む） 16市町村

※詳細は別紙参照

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 回政府非常災害現地対策本部会議 第 8 回災害対策本部会議

【総務部】

R8.7.31（金） 14：00 時点

被害状況

【県庁舎等の施設の被害状況】

○振興局等※窓口休止に関しては県HP掲載済み

庁舎名	被害状況			窓口への影響
	水道	ガス	通信(LAN)	
宇城総合庁舎	×(断水)	×(閉栓)	○	窓口業務休止(農林部以外)
宇城保健所	×(断水)	×(閉栓)	○	-
八代総合庁舎	×(断水)	×(閉栓)	△ (不通(一部復旧済み))	窓口業務再開※出入口は裏口からのみ
水俣保健所	○	○	×(不通)	一部窓口を閉鎖中(システムが必要なもの)

【私立学校の被害状況】（私学振興課）

(人的被害)

- ・ 17校から生徒等の負傷の報告あり。

(物的被害)

- ・ 学校 42校（中高 18校、専修学校・各種学校 24校）

令和8年熊本地震に係る
第1回政府非常災害現地対策本部会議
第8回災害対策本部会議

【総務部】

R8.7.31（金） 14：00時点

現在及び今後の対応状況

- ・ 今後、予算化が必要となる事業について、各部局に対し照会中。
- ・ カスハラ対応や電話応対品質向上のための外線電話への録音告知を7月30日（木）16時から当面の間停止。

【市町村への県職員派遣】

- ・ 応援職員を八代市、宇城市、宇土市、美里町、嘉島町、氷川町の6市町に各4名派遣（第1陣：7月29日～8月2日）。

【被災市町村への応援職員派遣】

- ・ 災害救助法適用団体等から寄せられた人的支援ニーズに対し、県、県市長会・町村会等と連携し、本日、県内市町村から合計31名の応援職員の派遣を開始。避難所支援、罹災証明書受付、災害ゴミ関係業務に従事。引き続き、人的支援ニーズを把握しながら、派遣の調整を行う。
- ・ 加えて、総務省の調整により、現時点で5市町につき対口（たいこう）支援方式※による対口支援団体が決定し、今後、応援職員が派遣される見込み（一部は既に派遣中）。

（**熊本市**←東京都、**八代市**←大分県・鹿児島県・沖縄県・北九州市、**宇土市**←福岡県、**宇城市**←福岡市、**氷川町**←佐賀県）

※ 対口支援方式：被災市町村ごとに、都道府県又は指定都市を「対口支援団体」として割り当てることにより、対口支援団体が基本的に派遣調整業務なども含め自ら完結して応援職員を派遣することをいう。

【市町村における財政運営・税の減免等】

- ・ 災害に係る地方債や特別交付税措置などの地方財政措置について、29日に通知を発出し、県ホームページに掲載済。
- ・ 災害に係る市町村税の減免・納税猶予について、29日に通知を発出し、県ホームページに掲載済。

【県税の減免等】

- ・ 各広域本部及び自動車税事務所に県税の減免・納税の猶予等に係る相談窓口を設置

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回 災害対策本部会議

交通機関の被害状況

○鉄道関係

●JR九州 ※詳細な被害は調査中

- ・九州新幹線：熊本駅～鹿児島中央駅間で、防音壁落下損傷等200カ所以上、レール破断 2 カ所、橋脚のズレ 1 カ所
- ・鹿児島本線：熊本駅～八代駅間で、架線断線 1 か所、レール歪み 5 カ所、乗降場破損 2 カ所、電柱損傷多数、車両破損（パンタグラフ） 2 編成

●肥薩おれんじ鉄道 ※被害調査は継続中

- ・線路変状 八代～日奈久温泉間
- ・き電線断線 日奈久温泉～肥後二見間 他
- ・乗降場破損 上田浦駅構内 他

肥薩おれんじ鉄道被害状況▶



○航空機関係

●熊本空港

- ・貨物ビル：一部シャッターでレールからの脱輪及び部品破損等が判明。通常運用に支障なし
- ・ターミナル内の水道水の一部で濁水を確認、水道事業者である益城町から検査終了まで飲用水として使用を控えるよう指導あり（7店舗が閉店、2店舗が一部商品の提供を中止）。検査結果は早ければ31日夕方に判明する見通し

○バス関係

- ・九産交・産交バス：八代営業所は建物亀裂・アスファルト隆起により業務停止中。その他営業所建物に亀裂・ガラス割れ
- ・熊本バス・熊本電鉄：営業所の建物亀裂
- ・都市バス：営業所の天井・機材破損



○フェリー関係

- ・熊本フェリー：人道橋の先端と船体のハッチの一部が損傷

○タクシー関係

- ・熊本市中央区・東区・南区、八代市、荒尾市、宇土市、上天草市、宇城市、人吉市、御船町及び益城町の27事業者 28営業所における建物損壊、電気・水道・ガスの不通及び車両破損（県タクシー協会が調査中）

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 回政府非常災害現地対策本部会議 第 8 回 災害対策本部会議

【企画振興部】

R8.7.31(金)14:00時点

交通機関の運行状況

○鉄道関係

<JR九州：熊本エリア>

- 九州新幹線(上下線)

博多～熊本：本数を減らして運行

熊本～鹿児島中央：始発から最終列車まで運行取り止め（復旧には時間を要する見込み）

- 鹿児島本線(上下線)

熊本～宇土：始発から最終列車まで運行取り止め（8月2日の運行再開を目指す）

- 三角線(上下線)

宇土～八代：始発から最終列車まで運行取り止め（復旧には時間を要する見込み）

<肥薩おれんじ鉄道>

宇土～三角：始発列車から運行取り止め（8月2日の運行再開を目指す）

- 被災状況の確認及び鉄道施設構造物やレール等の点検を行うため、29日から 1 週間程度全線運転見合わせ

○バス関係

<九州産交・産交バス>

- 路線バス：八代方面は全便運休。熊本・木山・天草・三角・水俣方面の運行において一部欠便

- 高速バス：宮崎・鹿児島方面は全便運休（8月7日まで運休決定、8月8日以降は未定）

- 特急バス・快速バス：たかちほ号は全便運休（8月3日まで運休決定、8月4日以降は未定）

通信関係の被害状況

- 通信ネットワーク 出先機関 [3か所]、県立高校 [5か所] で通信障害発生 ((芦北)水俣保健所、熊本県環境センター、水俣港管理事務所)

今後の対応

【交通関係】 交通機関の運行状況について、引き続き情報収集に取り組み、適時適切な情報発信に努め、被害の拡大と二次被害の発生防止に努める。

【デジタル】 ●出先機関との通信ネットワークの被害・復旧状況の確認

- 災害支援機器（モバイルPC、タブレット、スマホ/携帯、モバイルルーター、スターリンク、ドローン）の貸出

- DX相談窓口（災害に伴い発生する申請や情報集約等の事務の省力化）

- D-CERT派遣による県及び市町村への支援に向けた被災状況やニーズの把握

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回災害対策本部会議

R8.7.31（金） 14：00 時点

被害状況、対応状況

【社会福祉施設、医療機関等における被害状況】

〈人的被害〉

○救護施設や医療機関等において、負傷者あり（骨折、軽傷ほか）

〈物的被害〉

○医療機関 177 施設、薬局 100 施設、高齢者施設 734 施設、児童福祉施設等 292 施設、
障がい者福祉施設 314 施設、救護施設 3 施設、と畜場・食鳥処理場 3 施設、県有施設 4 施設

【物資】

○県の物資集積拠点としてグランメッセ（展示ホール A）を開設。

○国からのプッシュ型支援により、スポットクーラー、電源車、水・食料等について受入れ後、避難所に順次発送。

○（株）亀万運送の倉庫（八代市）を県南地域の物資集積拠点として開設（7/31～）。

【被災地の保健・医療・福祉支援について】

○「熊本県保健医療福祉支援会議」の立ち上げ 第 1 回：7/31（金）14:00～

○各支援チームの動き：DHEAT、DMAT、日赤救護班、日赤災害医療コーディネートチーム、DPAT、災害支援ナース、
県保健師対口支援、県外保健師等チーム、日本栄養士災害支援チーム（JDA-DAT）、大規模災害リハビリテーショ
ン支援関連団体協議会(JRAT)、災害派遣福祉チーム（DWAT、DCAT）、JDAT（日本災害歯科支援チーム）、災害
薬事コーディネーター等が被災地の支援ニーズに応じ、増強しながら活動中。

これまで・今後の対応

【モバイルファーマシー（移動式薬局）について】

○県薬剤師会と連携し、モバイルファーマシーの出動に向け準備中。

【宿泊支援提供事業】

○市町村に事業の実施を通知済。県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携してて以下の市町村において実施を決定。
宇土市・宇城市・八代市（7/31）

【入浴支援事業】

○市町村に事業の実施を通知済。以下の市町村において実施中。
天草市・上天草市（7/29～）、宇土市・宇城市・八代市・氷川町・水俣市（7/31～）

【熱中症対策】

○熱中症予防及びエコノミークラス症候群予防対策について、避難所等への啓発資料配布、県ホームページやテレビ、ラジオ、SNS等を活用した啓発を実施。

【応急仮設住宅関係】

○早期の建設型応急住宅の整備に向け、事前準備の調整を開始。

【災害ボランティア関係】

○県災害ボランティアセンターを設置し、市町村災害ボランティアセンターの立上げ後、募集開始予定。

【医療機関や社会福祉施設等における給水の確保】

○給水支援本部により医療機関や福祉施設等への給水調整開始。

被害状況**被害状況****【人的被害】**

○被害なし（入院患者、職員、委託職員）※非番職員についても安否確認済。

【建物被害】

○大きな損壊なし。細かい破損あり。詳細は精査中。

○書棚、キャビネット、パソコン、テレビ等、転倒多数。コインランドリー、検査室機器一部故障。

※地震後停電（空調切れ）。20 時に電気（空調）復旧。29 日（水）ボイラー復旧。

※井戸水利用、地震後白濁が見られ、飲用停止。29 日（水）水質検査（30 日（木）結果：飲用可）

※入院患者には、28 日（火）夕方、29 日（水）朝は非常食提供。29 日（水）昼から給食再開。

※29 日（水）の外来は予約、緊急について対応。30 日（木）から通常診療。

デイケア等は、31 日（金）から再開。

今後の対応

- ・ 現在入院患者 99 名（発災後 13 名受入）。今後の患者受入について、現在の医療体制を踏まえ、当面の受入れ目安を 110 名程度とする。（関係機関連絡済）
（本日、他医療機関から症状が重い 2 名の入院受入れ済）
- ・ 避難者受入れ要請があった場合、会議室提供可能。（職員配置困難）
- ・ 当院から災害支援ナース 1 名派遣（氷川町 8 / 3 ～）。さらに 1 名派遣調整中（8 / 12 ～）。

令和8年熊本地震に係る 第1回政府非常災害現地対策本部会議 第8回災害対策本部会議

【環境生活部】

R8.7.31（金）14：00時点

被害状況

【水道の状況（断水）】

計 79,100戸

市町村名	熊本市	宇土市	宇城市	御船町	甲佐町	八代市	氷川町	芦北町	天草市	上天草市
断水戸数	約8,700	約12,200	約17,800	約2,100	約400	約25,300	約3,200	約1,000	約1,100	約7,300

- 人吉市で一部水源の濁りによる取水停止に伴う水压低下を確認（約15,000戸）。
- 菊池市、大津町、菊陽町で濁水を確認。※西原村は解消 ○ 益城町の一部で漏水を確認。
- 断水中の複数の自治体で昨日又は本日から試験通水を開始。（熊本市、宇土市、宇城市、天草市、上天草市）
- 試験通水していない市町の被害状況・復旧見込み確認のため、本日、職員を現地に派遣。

【給水所の状況（16市町村）】

- 上記の市町村については、全て給水所を設置済み。
- 随時、市町村において給水所等の設置を調整中。

【廃棄物処理施設等の状況】

- ごみ処理関係：（焼却施設）通常稼働 1 1、点検中 4（収集運搬）通常収集 4 5
- 仮置場関係：設置予定 1 2 市町村（産業資源循環協会と連携）
開 設 日：7/29(水)芦北町 7/30(木)西原村、甲佐町
7/31(金)御船町、宇土市、宇城市、美里町、上天草市
8/ 1 (土)嘉島町 8/ 3 (月)八代市
※他の市町村（益城町、氷川町）は日程検討中
- し尿処理施設関係：通常稼働 1 3、稼働不可 1（八代生活環境事務組合）→別施設で処理中

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回災害対策本部会議

これまで・今後の対応

【水道関係】

- 水の安定供給のため、国交省の協力を得て7/30(木)「給水支援本部」を立上げ、情報集約を一元的に行う体制を構築。緊急性の高い施設の抽出を進め、 7/31(金)中に翌日の給水計画を検討する。

【災害廃棄物処理関係】

- 廃棄物処理に係る職員を環境省と福岡市から熊本県に派遣（7/29（水）到着済み）。

【県民生活関係】

- 災害に便乗した消費者トラブル防止のため、プレスリリース、県HP、県公式SNS等による注意喚起を実施。
- 宇土市、宇城市、美里町及び上益城郡5町の消費生活相談（専用ダイヤル分）を県消費生活センターで代行。
- 男女共同参画の視点からの「避難所チェックシート」（内閣府作成）を市町村へ周知及び県HPに掲載。
避難所における盗難、性被害・DV、災害に便乗した消費者トラブルを防止するためのチラシを避難所に配布。
- 熱中症対策のため、震度 6 弱以上の市町村において、クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）
の開放に協力いただける大型施設を個別に確認し、7/31(金)に県ホームページに掲載（随時更新）。
- 阿蘇山上に設置しているトイレコンテナを氷川町の避難所に移設する予定。
- 県庁東門に設置している移動式急速充電器を氷川町役場に移設する予定。



クーリング シェルター-県HP

【災害物資調達関係】

- 災害物資協定を締結している県生活協同組合連合会に随時物資調達及び輸送を要請。

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 回政府非常災害現地対策本部会議 第 8 回災害対策本部会議

被害状況**【県有施設等】**

○グランメッセ熊本：

- ・ Aホールは無事。物資集積拠点として使用中。
- ・ BCDホールはBホールの天井が一部落下。躯体に損傷はない見込みだが、天井その他の応急措置が必要。早期使用が可能となるよう、応急措置に本日（7/31）着手。（終了時期は未定）。
- ・ 一般利用は当面休止（7/29～1か月程度）

【商工関連事業者等】

○商工業関連業者 現在1,152件（被害額確認中含む）、30億3,800万円被害報告あり。

○誘致企業 現時点で169社において建屋や設備等の被害を確認。

○地場企業 建物、設備等の被害あり 83社、調査中 17社

○発電施設 太陽光発電施設：被災4か所 被災総額約517万円

水力発電施設、くまもと県民発電所被害発生なし。

バイオマス発電施設3施設（日本製紙含む）が被災、発電停止。

○採石関係 県央の砕石場1か所被災（砕石プラントへの給水管脱落。仮復旧済み）

今後の対応**【被災商工関連事業者への支援】**

○県に特別相談窓口を設置。

商工政策課096-333-2316 商工振興金融課096-333-2314

○国が県内の関係機関等に特別相談窓口を設置。

○東京スター銀行 熊本支店が、台湾の方なども利用可能な、中国語対応の金融相談窓口を設置。

電話番号：096-326-0059

○熊本県信用保証協会において、中小・小規模事業者向けの緊急時短期資金保証制度及び緊急時条件変更の取扱いを開始。

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 回政府非常災害現地対策本部会議 第 8 回災害対策本部会議

【観光文化部】

R8.7.31（金）14：00時点

被害状況

【1 観光施設・宿泊施設等】

- ・県央及び県南地域を中心とした県内の主な宿泊施設及び観光協会に電話で被害状況確認。以下の宿泊施設において被害あり。
なお、現時点で人的被害の情報なし。
①熊本市：壁の亀裂（1件） ②八代市：建物破損等（5件） ③上天草市：水道管破裂（1件） ④水俣市：エレベーター故障（1件）
- ・県公式観光サイトにて、道路や各交通機関の情報をリンク掲載（多言語版含む）。

【2 県有施設（指定管理）】

以下の4施設において、一部建物、備品等の被害あり。人的被害はなし。安全が確保されるまで当面の間、休館。

- 県立劇場 → 演劇ホール照明のカバーが落下。シャンデリアのカバーがずれ、電球が落下。エレベーターが停止。
- 熊本県伝統工芸館 → 入口前の舗装に長いヒビあり。ショップの商品やカフェの食器等が落下。
- 熊本地震震災ミュージアムK I O K U → 被害なし ○ 野外劇場アスペクタ → 被害なし

【3 個別出先機関】

- 博物館ネットワークセンター
 - ・人的被害なし。
 - ・地盤（約3cm）及び建物（約10cm）の沈下発生。収蔵物の多くが棚から落下
- ・外壁、敷地内石垣、自動ドア、窓ガラス等破損あり。
・当面の間、休館。

現在及び今後の対応

【1 観光施設・宿泊施設等、2 県有施設（指定管理）、3 個別出先機関】

- ・熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携のうえ、引き続き被害状況等の情報収集を行う。
- ・各指定管理者・出先機関職員にて引き続き状況を確認。

【4 要配慮者等のホテル避難】

- ・ホテルの掘り起こしを実施中。

【5 はくおうⅡ】

- ・はくおうⅡを活用したホテルシブ運用のため、部内でチームを編成し、防衛省、関係機関と連携のうえ入浴支援を最優先に調整中。

【6 宿泊キャンセル調査】

- ・関係団体や市町村を通じて調査中（回答期限：8月3日（月）正午）。

令和8年熊本地震に係る 第1回政府非常災害現地対策本部会議 第8回災害対策本部会議

【農林水産部】

R8.7.31（金）14：00時点

被害状況

■農業関係

【農作物・農業施設】

（農作物被害）

- ・果実の落果（梨）：調査中であるが、被害中～大の様相（氷川町等）
- ・イチゴ高設ベンチの倒壊および苗の転倒（宇城市、氷川町）
- ・いぐさ作業場、倉庫等の倒壊による機械類や織機等の被害（八代市、氷川町）
- ・イチゴ、露地野菜、いぐさ等の用水路の損壊等による水供給不足（氷川町、八代市）

（園芸施設）

- ・ハウスの液状化（熊本市、八代市）

（畜舎・農舎）

- ・農業用倉庫の倒壊（益城町）
- ・牛舎・畜舎の倒壊（熊本市、宇城市）
- ・換気扇故障による採卵鶏死亡（大津町）
- ・乳業工場（熊本市）の施設内機械破損
⇒生乳の受入れはできるが製品の製造ができないため、全量を別工場へ移送

（共同利用施設）

- ・卸売市場の施設・設備損壊（八代市、熊本市）
- ・直売施設の施設・設備損壊（宇城市）
- ・J A 熊本経済連第二園芸集送センター（宇城市）の損壊（停止中）⇒現在出荷分（ナス等）の対応を検討中

【農地（田・畑・樹園地）、農業用施設】

- ・防災重点農業用ため池56箇所、農地海岸保全施設10箇所において、異常（堤体の沈下、護岸のひび割れ等）を確認。
- ・球磨川遙拝堰から取水している不知火幹線水路（国営事業実施中）のひび割れ等により、農業用水の供給が停止。

■林業関係

【林道施設】

- ・法面崩壊・落石 11路線28箇所（八代市）

【山腹崩壊】

- ・山腹崩壊・落石 2箇所（天草市、小国町）

【苗木生産施設】

- ・苗畑の灌水施設の損壊（熊本市）⇒復旧済み

【林産施設等】

- ・木材市場施設内の液状化（八代市）
- ・木材加工施設等の損傷（宇城市、御船町、美里町）

■水産業関係

【共同利用施設】

- ・熊本市、宇土市、八代市、天草市の計5施設で配管や外壁等の損傷あり

【漁港】

- ・県管理16漁港のうち4漁港で、防波堤空石積崩落や物揚場損傷等の被害発生
- ・市町管理87漁港のうち22漁港で被害あり

■その他【農林水産部関係施設】

- ・中央家畜保健衛生所（熊本市）
⇒施設内検査機器及び焼却炉が破損。
⇒7/31中を目途に検査対応について応急的な復旧予定。
- ・茶業研究所（御船町）
⇒電動シャッターや天井等の破損が生じている。
7/31から徐々に業務を再開。
- ・アグリシステム総合研究所（八代市）
⇒停電（7/30復旧済）、断水（井戸のくみ上げで対応）、施設の壁のひび割れや窓ガラス・シャッター破損等、機器の転倒・破損が生じ、最低限の片付けにあと1週間程度かかる見込み。
- ・果樹研究所（宇城市）
⇒断水（上水道）、天井落下・壁破損、作業道・ほ場の地割れ、ハウスの損壊、かん水用配管破損、機器の破損、梨落果。
⇒業務に支障のある箇所の片付けを先行し、主に摘果・収穫作業等ほ場管理を優先。井水により灌水。

令和 8 年熊本地震に係る 第 1 回政府非常災害現地対策本部会議 第 8 回災害対策本部会議

今後の対応

■ 部内各課、広域本部・地域振興局関係課等と連携し、引き続き被害状況調査を実施。

■ 被災農業者等への支援

- 各広域本部（地域振興局）農業普及・振興課に「営農相談窓口」を、団体支援課（096-333-2371）に「金融相談窓口」を設置。
（関係機関の災害等特別相談窓口）
日本政策金融公庫熊本支店（農林水産事業）
096-353-3104
農林中央金庫熊本支店 096-353-1147
- 「令和8年熊本地震に係る農業保険の対応について」等国から通知。※振込期限の延長、共済金の迅速な支払い、収入保険に係るつなぎ融資の実施等

■ 農業革新支援センター情報の発出

- 技術情報として「油流出防止対策」、「イチゴ苗対策」、「塩害対策」、「農薬容器破損対応」の4情報を発出。
- 液状化等による土壌への影響が懸念されるため、農研センターと連携して「土壌分析チーム」を設置。

■ 農林水産部関係の災害時応援協定に係る対応状況

- 県酪連との救援物資提供に関する協定：飲料の在庫状況やニーズを踏まえ、対応を調整中
- 災害時における応急仮設住宅用木材の供給に関する協定に基づく連携
- 漁港建設協会との被災漁港への支援に関する協定：状況に応じて、対応を調整中

■ 被害が確認された農業用施設

- 農業用水路の供給が停止している不知火幹線水路（八代市）について、現在、国が復旧工法等を検討中。
- 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農工研）が、被災ため池等の復旧に向けた技術指導を実施予定。
- 堤体の沈下等の異常が確認された防災重点農業用ため池56箇所では、今後、管理者等においてブルーシート掛け等の応急対策や監視体制の強化を実施予定。
- 被災した防災重点農業用ため池の今後の対応について、県、ため池サポートセンター、MAFF-SATにより意見交換を実施（熊本市、宇土市、宇城市、美里町、甲佐町）。
- 護岸のひび割れ等が確認された農地海岸保全施設10箇所では、交通止め等の安全対策を実施するとともに、今後、対策工法の検討を実施予定。

■ 農林水産省からの支援

- MAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）の派遣：計4名
- 農林水産省から技術指導及び被害調査等支援のため農業土木技術職員派遣（7/30～）：60名程度
- 林野庁（九州森林管理局含む）からの派遣：計3名
- 水産庁（九州漁業調整事務所含む）からの派遣：計2名
- ヘリによる林野関係被災状況調査を実施済み（7/30）
⇒被災状況の把握等を国と連携して対応

被害状況

【道路・橋りょう】

＜県管理道路＞※これまで全面通行止め26カ所発生、そのうち15箇所解除

現時点の全面通行止め10路線11箇所

○三本松甲佐線（甲佐町）・今吉野甲佐線（甲佐町）・御船甲佐線（御船町）・国道219号（八代市）・国道218号（宇城市）・
八代鏡線（八代市）・鏡宮原線（八代市・氷川町）・八代不知火線（八代市）・中津道八代線（八代市）・益城矢部線（御船町）

※幹線道路上の倒壊建築物撤去に7/30着手

＜直轄国道・高速道路＞

○九州道（松橋IC～えびのIC） 全面通行止め <https://ihighway.jp/pcsites/map/?area=area09>

○南九州道（八代JCT～田浦IC） 全面通行止め

【河川・海岸】

○河川については、24河川59箇所です堤防沈下や護岸ひび割れ等を確認。引き続き点検を実施中。
（重要水防区間248箇所中211箇所調査済）

○海岸については、全83海岸で点検が完了し、9海岸で護岸等のひび割れやずれを確認。

【公園等】

○各県営都市公園

・エコパーク水俣：液状化発生。立入禁止措置、応急対策完了。・テクノ中央緑地：園路のひび割れ発生。被害箇所は立入禁止措置。

【下水道・集落排水】

＜県流域下水道＞

○八代北部浄化センター：管渠点検完了、マンホール周辺の陥没が複数発生。

＜市町下水道＞ ※震度5弱以上の市町を確認

○4市町（八代市、宇土市、氷川町、御船町）：点検中。

※4市町（八代市、宇土市、氷川町、宇城市）からの支援要請を受け、7/31から職員4名をLO派遣。

国、福岡県、福岡市、北九州市、熊本市及び管路管理業協会と災害支援体制の調整中。

【港湾・空港】

○八代港：コンテナターミナルにおいて、ガントリークレーン損傷、レールの曲がり、ヤードの液状化が発生。

くまモンポートなど外港地区全体において、岸壁エプロンの亀裂、ふ頭用地沈下等が発生。

その他、大島地区臨港道路の液状化、内港地区の岸壁亀裂等が発生。

○熊本港・三角港・水俣港・田浦港・佐敷港：港湾施設の破損や臨港道路等の亀裂発生。

○市町管理港湾：鏡港、日奈久港、上天草港、天草港において、物揚場や護岸のひび割れ・沈下等が発生。

次ページへ続く

被害状況

- 港湾海岸：全23海岸中22海岸で点検が完了し、上天草港海岸で目地開きを確認。
- 八代港、三角港における支援船の受け入れについて、九州地方整備局（リエゾン2名）と連携して調整。
7/29から8/1までに、海上保安庁・海上自衛隊・国交省の巡視船等13隻を順次受け入れの上、飲料水や救援物資の提供を開始。

【砂防施設・土砂災害】

- 砂防施設（400箇所）のうち208箇所の点検が終了。現時点で被害報告なし。

【公営住宅】

- 市町村営住宅については、16市町村108団地で外壁や敷地のひび割れ、屋根瓦の破損等の被害報告あり。
- 県営住宅での被災者受入に向けて、30戸程度を準備中。市町村営住宅についても確認中。

【建築・盛土】

- 建築物応急危険度判定について、宇城市及び氷川町で実施中。その他の市町村とは協議中。
- 既存盛土の被害状況調査を実施し、6市町村全12箇所完了。（土砂の流出等なし。引続き土地の所有者等に盛土の経過観察を依頼）。
- 住宅金融支援機構が被災住宅に関する相談窓口を設置し、市町村に周知。
- 建設型応急住宅の整備に向けて、協定団体や市町村と整備に向け調整中。

【国土交通省等からの支援】

- T E C - F O R C E等の派遣：30名（県庁14名、宇城市4名、八代市4名、氷川町4名、甲佐町2名、美里町2名）
- ヘリによる被災状況調査（7/28，29，30，31，8/1予定）
- 防災用コンテナ型トイレの派遣（美里町カントリーパーク、小川町総合文化センター、氷川町伝承館、八代市鏡支所）
- 日建連をはじめ建設業界団体からの避難所への物資等支援（飲料水：宇土市、仮設簡易トイレ：氷川町25基等）
- （国研）土木研究所・国土技術政策総合研究所及び（国研）港湾空港技術研究所が支援を実施。

今後の対応

- 調査・情報収集を継続するとともに、道路啓開、河川・港湾・公園の応急対策、建築物応急危険度判定等に全力を挙げる。

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回災害対策本部会議

【教育委員会】

R8.7.31（金）14：00時点

被害状況

【人的被害】

- 教職員の負傷（学校活動中）
宇城地域 1 名：骨折 八代地域 1 名：割れた窓ガラスで手に怪我
- 児童生徒の負傷（学校活動中）
八代地域 3 名：部活動中にトタン屋根崩落により頭部に怪我、
転倒による打撲
- 教育庁職員の人的被害報告なし。

【物的被害】

- 学校 159 校（県立 54 校、市町村立 105 校）※学校施設被害一覧は割愛
 - ・ 八代工業高校：校舎内ガラス破損多数
 - ・ 宇土中・宇土高：フェンスの倒れ、建物のひび
 - ・ 松橋西支援学校：地割れ、柱の割れ
 - ・ 熊本市立城西小学校：体育館金物落下
 - ・ 八代市立龍峯小学校：グラウンド地割れ 校舎損傷
 - ・ 甲佐町立乙女小学校：建物のひび・ずれ 等
- 学校関係施設 53 施設（県立 5 施設、市町村立 48 施設）
 - ・ 給食センター建物の壁にクラック 教職員住宅の瓦落下 等
- 文化財 67 施設
 - ・ 熊本城：石垣崩落
 - ・ 八代城跡：石垣崩落並びに石塔倒壊
 - ・ 人吉城跡：土砂崩れ
 - ・ 松浜軒：損壊 等
- 社会教育施設 53 施設
 - ・ 熊本県陸上競技場：支柱土台破損、天井コンクリ片落下、藤崎台県営野球場：グラウンドにひび
 - ・ 県営八代運動公園：陸上競技場の液状化
 - ・ 豊野少年自然の家：ガラス割れ、水道管破裂 等



松橋西支援学校



八代市立龍峯小学校



【県管理教育施設の活用状況】

- 熊本武道館・熊本県立総合体育館において熊本市の避難所開設
- 県立青少年の家（天草・菊池・豊野・あしきた）において避難者及び救援チームを受入開始
（豊野少年自然の家で7/31から避難者4世帯6名、あしきた青少年の家で7/30から緊急消防援助隊121名）

**令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回災害対策本部会議**

今後の対応

- 未指定文化財等の被害状況把握及び保護のため文化財レスキューを実施
- 被災文化財の復旧及び被災市町村との支援を円滑に進めるため文化財復旧チームを設置
- 本日夜から避難所となっている鏡わかあゆ支援学校に本庁から職員を派遣
- 本日から氷川町教育委員会に学校支援チームを派遣
- 危険度判定士（文科省からの派遣）による学校建物の安全確認中
- 教育庁 H P への専用ページ開設
- 引き続き、人的被害の安否確認及び物的被害の状況等の確認

被害状況

【110 番通報】

364 件（家屋倒壊、火災、建物倒壊、家屋閉じ込め、電柱倒壊等）

【捜索活動状況】

- ・要救助事案 59 件のうち 58 件対応済み、1 件対応中
- ・対応中の嘉島町（イオンモール熊本）における建物倒壊現場については、広域緊急援助隊（警備部隊）、本県警察官及び機動警察通信隊の約 220 人が関係機関と連携して要救助者の捜索を実施中

【交通対策状況】

- ・八代市、宇城市を中心に約 90 件の信号滅灯が続いていることから、国道 3 号等の主要交差点に広域緊急援助隊（交通部隊）及び本県警察官約 100 人を配置するなどして交通整理を実施中

【防犯対策等の状況】

- ・警察災害派遣隊（特別自動車警ら部隊及び被災者支援部隊）の約 130 人が、被災地における警ら活動及び被災者支援等を実施中
- ・生活安全部隊が避難所における相談対応、防犯指導活動、パトロール等を実施中
- ・特別捜査隊が八代市、宇城市等における防犯警戒を実施中

今後の対応

【追加応援要請】

- ・中四国、近畿管区から警察災害派遣隊（特別自動車警ら部隊及び被災者支援部隊）約 230 人を追加要請
 - ・中四国管区から広域緊急援助隊（交通部隊）約 130 人を追加要請
- 引き続き、県外応援部隊及び関係機関と連携して捜索活動、交通対策、防犯対策等の諸対策を実施

令和 8 年熊本地震に係る
第 1 回政府非常災害現地対策本部会議
第 8 回災害対策本部会議

【知事公室】

R8.7.31（金）14：00 時点

被害状況

【県在住外国人関係】

- ・ 人的被害 ○ 熊本県外国人サポートセンターに寄せられた被災情報は 2 件。
- ・ 情報の発信 ○ 外国人コミュニティに対し、通訳等の依頼先として外国人サポートセンターの連絡先を周知。
- 出入国在留管理庁の災害専用回線開設について各市町村に連絡。
- 熊本県外国人サポートセンターHPにおいて、災害のときにとる行動、相談先等を発信。

【旅券申請関係】

- 災害救助法適用市町村において、旅券発給手数料減免を開始（半壊以上の被災者が対象）。

【くまモン関係】

- くまモン隊、くまモンスクエア、くまモン利用許諾事務局 人的被害なし。
- くまモンスクエアについては、7月30日から営業を再開（くまモンステージは当面見送り）。施設の大きな被害はなく、共用通路壁の剥がれ、館内壁のひび割れを確認。

【県広報関係】

- 県庁ホームページ内に、地震に関する特設ページを開設し、災害対策本部会議資料や注意喚起（被災時の熱中症対策等）などを一括して掲載するとともに、県庁各種SNSにより情報を発信する。

今後の対応

- 外国人留学生や外国人コミュニティ等からの情報収集を継続。
- 大使館、領事館等からの問い合わせに対応。
- 外国人サポートセンターにより市町村と連携した外国人からの相談への対応を実施。
- くまモン隊の活動については、当面の間、県外・海外を含むすべての出勤を見送り、今後の活動については、県内の被害状況を踏まえ決定することとする。
- 令和 8 年熊本地震の被害等に対して行われる募金活動など、各種支援活動へのくまモンのイラスト利用については、7月29日から当面の間、現在公表している全てのイラストを届出制（許諾不要）とする特例措置を実施。

被害状況

＜債権者への支払について＞

- 指定金融機関（肥後銀行）に確認
 - ・ システムに支障はなく、債権者への支払について影響なし

＜財務会計システムの稼働状況について＞

- 本庁・出先機関に確認
 - ・ 本庁・出先機関共に財務会計システム支障なし

＜県内金融機関の状況＞

- ・ 肥後銀行、熊本銀行、熊本県信用組合、熊本中央信用金庫の一部の店舗が臨時休業

今後の対応

- 引き続き、指定金融機関等を通じ、各金融機関の状況を情報収集していく
- 引き続き、本庁・出先機関を通じ、財務会計システムの稼働状況について情報収集していく

被害状況

○電気事業

- ・運転停止した笠振発電所及び緑川第三発電所が7月29日中に運転再開
- ・他の発電所及び幸野・船津ダムに異常なし

○工業用水道事業

- ・三工水（有明、八代、苓北）の浄水場内設備に被害なし
- ・有明及び苓北の場外配管に被害なし
- ・八代の場外配管に漏水被害あり
- ・新規工水工事現場での被害なし

○有料駐車場事業

- ・県営駐車場は補強部材のコンクリート被膜にクラックあり

今後の対応

- ・八代工水の漏水被害について詳細調査と対策を検討